



理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ① 認知症疾患の特性を踏まえ、個別性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ② 認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③ 地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④ 働きがいのある職場づくり
- ⑤ 職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ① 良質な医療を平等に受ける権利
- ② 選択および自己決定する権利
- ③ 意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④ 十分な説明を受ける権利
- ⑤ 個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑥ 個人の尊厳を守る権利
- ⑦ 通信・面会を自由に行う権利

INDEX

- 表紙** 福井の名所探訪③
三方五湖(若狭町・美浜町)
- P2** すこやか講座
「パーソンセンタードケア」
- P3** 家族は今
「認知症の母」
- P4** THE病棟
東病棟での環境作りについて
- P5** デイケアだより
ボランティアグループ演奏会
- P6** トピックス 新入職員紹介
- P7** 講演会のご案内・
平成29年度研修案内(一般)
- P8** 平成29年度研修案内(専門職)



すこやか講座

今回はパーソンセンタードケアについてご紹介します

認知症看護・介護の現場で『パーソンセンタードケア』という言葉を目にする機会が増えています。イギリス生まれの、新しい認知症ケアとして注目されているパーソンセンタードケアとはどのようなものなのでしょうか。

パーソンセンタードケアとは…？

認知能力の低下がその人の存在意義（価値）の消失を意味するかどうかのような社会の在り方を変革し、その人の存在自体に価値があるという社会を創造する高い理念をもつ、価値基盤の事である。

（看護研究 医学書院 vol.46 No.7 P.660 2013年 12月）



認知症を持つ人を一人の人として尊重し、その人の視点や立場に立って理解してケアを行う、という考え方ですが、当院では数年前から院内にパーソンセンタードケアを取り入れています。認知症ケアの強化を図るとともに、援助者がケアを行う際にパーソンフッド（人間として尊重する）を維持する働きかけを意識的に行えるように、毎朝病棟ミーティング時に『パーソンフッドを維持する働きかけ』を読み上げています。

- 自分らしさ** ……相手の個性を認め、能力が発揮できるよう尊敬・尊重する。
- 結びつき** ……相手を受け入れ、誠実に共感を持ってかかわる。
- たずさわること** ……相手の活動に対して、援助内容を見極め、継続できるように支援する。
- 共に在ること** ……相手が一員と感じられるよう一緒に楽しみ喜び合う。
- くつろぎ** ……相手に対してリラックスできるペースで思いやり包み込む。

「あたりまえのこと」と思うかもしれませんが、ただ、ケアを行っている現場でいつもこの「あたりまえ」を徹底することは難しいのではないのでしょうか。

パーソンセンタードケアは自分自身のケアを振り返るきっかけにもなります。常日頃から意識してケアをおこなっていきたいですね。

家族は今…

「認知症の母」

K.H

若い頃から、病弱な父を助け仕事に家事にと頑張ってくれた母でしたが、3年前骨折で入院した頃から認知症の症状も進んできました。デイサービス、ショートステイ等、施設でお世話になっておりましたが、昨年11月頃から何か精神的なものが有ったのかもしれませんが、日中不穏な状態が続き、職員の方にもご迷惑をおかけする事となり、すこやかシルバー病院の受診を勧められました。診察を受けいろいろ検査し、薬の処方もいただき、施設に戻る事になりましたが、本人は薬を飲む事を拒み、食事も入らず、暴言、暴力(噛む、叩く)等今まで以上にご迷惑をおかけすることとなりました。また、本人も辛い思いをしている姿を見て家族は何とか楽にしてあげたいと思っていた所、ケアマネさんから連絡があり、入院の手続きをとって下さり、それを私たち家族はどのような気持ちで待っていたか知れません。

入院当初は「家に帰りたい、連れて帰って」「こんな所に入れて」等、母の口からは不満ばかり聞こえてきましたが、最近では、娘の私に「帰りたい」の言葉は聞こえず「気をつけて帰んね」と心配してくれます。入院する前の私たちの気持ちを思いますと本当に病院の先生をはじめ、スタッフの方々のお蔭だと深く感謝しております。毎日、本当にありがとうございます。今後もよろしくお願い致します。



The 病棟



東病棟での環境作りについて

今回、院内研究の発表の一環で*PEAP(ピープ)を取り入れ、快適な温かみのある環境作りをしています。ゆっくり、のんびり、安心して一息ついて頂ける空間を目指し、明るく景色も見えるテラス前の一角にコーナーを設けました。ソファで配置の工夫をし、本棚にはスタッフ手作りの昔の新聞や福井のファイルなど、昭和の時代を振り返ることが出来る資料を置きました。周囲には季節や「和」を感じる飾り付けをしました。すると、患者様からは「懐かしいなあ」「若いころに戻りてえな」など昔を懐かしむ声が聞かれ、家族からは「最近よく話すようになり、表情も和らいだ気がします。」との言葉がありました。



※PEAP(ピープ)…施設に住まう認知症高齢者にとっての望ましい環境について、その考え方や具体的内容を示した指針。ケアの現場でどのような環境設定をすればよいのか考えたり、現状において足りないもの(考え方)や反対に優れている点は何か？を知ろうとする時に役立つ指針。

患者様にはゆったりとした時間を過ごしていただけるよう、更に温かな雰囲気にあふれる素敵な環境作りを目指していきたいと思います。



デイケアだより

ボランティアグループの演奏会が行なわれました

6月8日に「コカリナアンサンブルひがし」の皆さんに、コカリナの演奏を披露していただきました。

デイケアの利用者様や病棟の入院患者様も参加され、『しあわせなら手をたたこう』の音楽に合わせて拍手や足踏みをしたり、2グループに分かれて『かえるのうた』に合わせて輪唱をしたりしました。コカリナの優しい音色に、参加された方からは笑みがこぼれていました。



6月26日に「ほたる会」の皆さんに、剣舞や歌、民謡を披露していただきました。

『岸壁の母』や『リンゴの唄』などの歌に合わせて、衣装や小道具を替えての本格的な歌や踊りに、会場も盛り上がりました。会場からも参加者を募り、皆さんで『炭坑節』を踊る等、懐かしい歌を共に歌い楽しみました。



私も踊れるわ！
昔踊ったもの！

お越しいただいたボランティアの皆さん、ありがとうございました

トピックス

はじめまして!!



新入職員紹介



社会福祉士

西川 保美
(地域連携室)

今年の4月より地域連携室に配属となりました西川保美です。この病院に来る以前は、障害を持った方へ就労の機会を提供する就労支援センターと、高齢者の方が通うデイサービスのある施設で、生活相談員として勤務していました。

この病院に勤務して数か月经ち、徐々に慣れつつも、まだまだ毎日が緊張の連続です。自分自身の経験不足もあると思いますが、私はこの病院に来られた患者さんご家族の方には、安心して生活を送って頂けるよう人と人との関わりを大切にした相談援助を行っていきたいと思います。皆様これからも宜しくご指導のほどお願いします。

この度、6月に入職しました介護職員の杉本衛と申します。以前は介護老人保健施設で働いておりました。高齢者介護に携わる中で、認知症はとても身近な病気だと感じるようになりました。その認知症や認知症の方のケアについて、より専門性を身に付けたく思い、認知症専門病院である当院で働かせて頂いております。

患者様が落ち着いて過ごせるように、楽しみを持って過ごせるように、目配り・気配り・心配りをモットーに介護職として日々のケアに取り組んで参ります。まだまだ未熟者ではありますが、少しでも患者様、ご家族様のお力になれるよう頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



介護福祉士

杉本 衛
(西病棟)



介護福祉士

野尻 真弓
(東病棟)

6月から、介護福祉士として勤務しています野尻真弓です。日々患者様との関わりの中で患者様が見せてくださる笑顔に癒されています。患者様の笑顔がもっとたくさん見れて、安心して過ごして頂けるように関わっていききたいです。患者様が今まで歩んでこられた生き方を尊重し、その人らしく過ごして頂ける環境を作っていけたらと思います。またご家族の思いにも耳を傾け、ご家族、ご本人共に良い信頼関係を築き、ケアに活かしていきたいです。

まだまだ未熟者で、わからない所も多いですが、一生懸命勉強し、患者様にとってよいケア、関わりができるようにがんばっていきますので、宜しくお願い致します。

講演会のご案内

福井県立すこやかシルバー病院 講演会

「認知症予防のライフスタイルと 認知症になっても安心なまちづくり」

日時 平成29年 **11月23日**(木・祝) **定員 400名**
13:30~15:30

会場 **福井商工会議所ビル
コンベンションホール(地下1階)**
[福井県福井市西木田2-8-1]

講師 群馬大学 名誉教授
認知症介護研究・研修東京センター センター長
山口 晴保 先生



- 講演内容
- 認知症の本質理解
 - 認知症予防 ～生活上の一工夫～
食事、運動、ストレス、睡眠等
 - 脳活性化リハビリテーションで豊かな生活を
 - 認知症になっても安心な地域

参加無料
事前申込を
お願い致します

申込方法

①はがき

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上
〒910-3623 福井市島寺町93-6
福井県立すこやかシルバー病院
までお送りください。

②FAX

氏名、電話番号を記入し、『講演会申込』と明記の上
FAX.0776-98-2793 までお送りください。

③電話 TEL.0776-98-2700



平成29年度【8月～】

福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

一般研修はお電話でお申込みできます。お名前（フルネーム、漢字）、連絡先、参加希望研修名をお伝えください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
認知症に関する制度と相談窓口	9月1日(金)	13時30分～15時	● 介護保険制度について ● 困った時の相談窓口	谷口久良精神保健福祉士	50名
認知症の基礎知識と介護のポイント	9月5日(火)	13時30分～15時	● 認知症の症状 ● 認知症高齢者への介護のポイント	上山こず枝看護師	50名
認知症を予防しよう！	9月6日(水)	13時30分～15時	● 心も体も元気に、健康に	高橋瑛美作業療法士	50名
認知症の方の食事、排泄援助	9月8日(金)	13時30分～15時	● 食事摂取困難な状況と介護 ● 排泄時の援助	辻真彰副看護師長	50名
認知症の基礎知識	12月5日(火)	13時30分～15時	● 認知症の原因疾患、症状、治療 ● 認知症診断に必要な情報	村田憲治診療部長(医師)	50名

平成29年度[8月~] 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

専門職研修の申込方法は、当院ホームページ「介護教育のご案内」をご参照のうえお申込みください。
 定員を超える研修が多いため、当院ホームページで申し込み状況をご確認ください。

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	講師	定員
独居生活の認知症高齢者の援助	8月28日(月)	13時20分～16時20分	● 認知症高齢者が独居生活を継続する上で必要な援助	兵庫医療大学看護学部 助教 久保田真美氏	70名
中等度・重度認知症高齢者の自己決定の機会提供	9月7日(休)	13時20分～16時20分	● 中等度・重度認知症高齢者の日常生活行動の自己決定を支える援助	県立広島大学保健福祉学部 助教 渡辺陽子氏	70名
認知症高齢者の収集に対する援助	9月11日(月)	13時20分～16時20分	● 認知症高齢者の収集行動の意味、特徴、援助	県立広島大学保健福祉学部 助教 渡辺陽子氏	70名
精神症状への対応	9月12日(火)	14時～17時15分	● 精神症状に対する具体的な対応	福井県立病院精神看護専門看護師 山口達也氏	70名
レビー小体型認知症の症状とケア	9月15日(金)	13時30分～16時40分	● レビー小体型認知症の症状とケア ● 事例検討	和田敏道 認知症看護認定看護師	50名
精神科薬物療法の知識	9月19日(火)	13時30分～15時10分	● 向精神薬の作用、副作用	村田憲治診療部長(医師)	70名
認知症の方とのコミュニケーション	9月22日(金)	13時30分～15時20分	● 認知症の方と接する際に必要なコミュニケーション方法について	金城大学看護学部 講師 久米真代氏	70名
介護者の表情が認知症高齢者に与える影響	9月29日(金)	13時20分～16時20分	● 認知症の方に対し笑顔で関わることの重要性について	佛光大学保健医療技術学部 准教授 白井はる奈氏	70名
高齢者虐待における家族支援	10月3日(火)	13時20分～16時20分	● 在宅での高齢者虐待の特徴、発見、対応、予防の原則	関西福祉大学看護学研究科長 教授 小野ミツ氏	70名
介護職員のメンタルヘルス	10月6日(金)	13時30分～16時	● 介護職員のストレスを予防・低減するための方法	新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科准教授 柳澤利之氏	70名
高齢者の睡眠改善に向けたケア	10月11日(水)	13時30分～16時30分	● 加齢に伴う睡眠障害と要因、睡眠障害の改善に向けたケア	福井県立大学看護福祉学部 看護学科 准教授 笠井恭子氏	70名
認知症高齢者の作業療法	10月13日(金)	13時30分～15時	● 認知症高齢者の作業療法の実践方法、注意点	松間香織作業療法士	50名
認知症高齢者が安心できる環境づくり	10月17日(火)	13時20分～16時20分	● 認知症高齢者への環境支援の具体的な内容、事例	大阪市立大学医学部 教授 白井みどり氏	70名
レビー小体型認知症の高齢者の体験世界	10月25日(水)	13時30分～16時30分	● レビー小体型認知症のある高齢者が語った生活上の困難な体験、思い	元兵庫県立大学看護学部 助教 加藤泰子氏	70名
心不全のある認知症の人の看護	10月31日(火)	15時～18時	● 心不全のある認知症の人の症状悪化予防に対する支援	弘前大学保健学研究科 准教授 大津美香氏	70名
認知症高齢者の徘徊に対する援助	11月1日(水)	9時30分～12時30分	● 認知症高齢者の徘徊に対する援助法	弘前大学保健学研究科 准教授 大津美香氏	70名
高齢者の排泄援助とスキンケア	11月7日(火)	13時30分～16時30分	● 高齢者の排泄援助とスキンケア	福井赤十字病院 皮膚排泄ケア認定看護師 上口美恵氏	50名
			● 認知症高齢者の排泄援助の実際	谷本千恵子介護福祉士	
認知症介護家族に対する援助	11月8日(水)	13時20分～16時20分	● 認知症高齢者介護家族の身体的、精神的負担軽減のための支援	仁明会 精神衛生研究所 副所長 大塚恒子氏	70名
要介護施設従事者等による高齢者虐待防止	11月13日(月)	13時30分～16時30分	● 高齢者に対する要介護施設従事者の虐待内容、発生要因、未然防止、悪化防止	東北福祉大学総合福祉学部 講師 吉川悠貴氏	50名
認知症の方とのコミュニケーション	11月14日(火)	13時00分～15時00分	● 認知症の方と接する際に必要なコミュニケーション方法について	東北福祉大学総合福祉学部 講師 吉川悠貴氏	50名
認知症高齢者の入浴困難に対する援助	11月17日(金)	13時30分～16時30分	● 認知症高齢者の入浴困難に対する援助法	金城大学看護学部 教授 高山成子氏	70名
若年性認知症者と家族の思い	11月24日(金)	13時30分～16時30分	● 若年性認知症者と家族の抱えている困難や課題	日本赤十字看護大学 准教授 千葉京子氏	70名
精神症状への対応	11月28日(火)	14時～17時15分	● 精神症状に対する具体的な対応	福井県立病院精神看護専門看護師 山口達也氏	70名

12月以降の研修については、リニューアルライフすこやか秋号に掲載予定です。
 当院ホームページ（介護教育のご案内）でもご確認いただけます。

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700